



7月行事日程 行事

日	曜	内 容	給 食
1	金		◎
2	土		
3	日		
4	月	発表集会 ③④選書会 1年非行防止教室	◎
5	火	P T A 役員会 2年喫煙防止教室	◎
6	水	3年薬物防止教室	◎
7	木	C I R S S W	◎
8	金		◎
9	土		
10	日		
11	月		◎
12	火		◎
13	水		◎
14	木	C I R S C S S W	◎
15	金	執行委員会 専門委員会	◎
16	土		
17	日		
18	月	海の日	
19	火	通知表渡し 人権教室	◎
20	水	終業式	なし
21	木	夏休み	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

夏休み中の日程は、
8月号でお知らせします。

SSW = 学校、家庭、地域を繋ぐコーディネーターです。
SC = 心理学の専門家で、生徒や保護者の相談に応じてくれます。



備えあれば憂いなし (校長先生より)

先日は、品川先生をお招きして『働くために必要な事』と題したご講話を伺いました。その中には、人工知能の開発により、近い将来無くなってしまうかもしれない職種のお話しや自分の脳の特性を知り、その特性を受け止めて効率の良い勉強法を見つけることの大切さなどを学びました。私もお話を伺いながら、勉強したことが頭に残らないのは自分の脳の特性に合った学習をしていなかったからかな？などと自分の努力不足を棚に上げて言い訳を考えたことでした。

さて、今回は脳の働きにも密接に関係する私たちの遺伝子について少しお話をしてみます。

現在、日本人特有の性格を決定する遺伝子がいくつか見つかっていて、それは、外国に比べてものすごい頻度で起こる天災や災害など生活環境からの強い圧力(恐怖心)に対して生き延びるための遺伝子が、日本人には蓄えられているそうです。

日本人は自分たちが災害の多い土地に生まれているのだから、他者と協力する習慣を身につけることで、災害時に生き延びることができるよう、日常から遺伝子レベルでその時の蓄えをしているそうです。また、この遺伝子は天災や災いをチャンスに生かすことができる力もあり、被災後に悲しみに負けず復興に力強く励んでいる人々の姿からもそれが見て取れます。

これらが、昔から言われている「困ったときはお互い様」という言葉で言い伝えられているのでしょうか。確かに日頃から自分勝手なことをしていたり嫌われるようなことをしているのは、いざというとき他者からの援助は受けられませぬよね。

学校生活や社会のルールを守る大切さも、我々が受け継いでいる遺伝子や文化を磨き、災害時など人生のピンチの備えとして、他者と協力しあえる習慣を身につける学習として考えてみるのも大切ではないでしょうか。皆さんにとって『備えあれば憂いなし』となればと願っています。

避難訓練と防災学習



6月17日に、地震を想定した避難訓練を行い、その後「地震による土砂崩れ」等の被害について映像で学習し、生活している地区に分かれて、家から避難する場所などについて確認し合いました。避難には絶対の方法がなく、自分で生き延びる気持ちと場に応じたとっさの判断が重要であることを繰り返し学びました。

生き方学び講座

6月19日道徳参観日の午後は、生き方学び講座と北川村学校支援地域本部主催の人権学習会を併せて行いました。



講師に「ロボットのぞみ」さんをお迎えし、前半はパントマイムを中心とする「パフォーマンス」を見せていただき、後半は「講話」と「歌」を聴かせていただきました。「命」をテーマとする「心を持ちたいロボットのぞみ」のパントマイムは、参観していた皆さんの心に深く響いたと思います。マジックやジャグリングもを見せていただき、楽しく有意義な時間となりました。

感動で膨らむ心 (詩から)

シャボン玉の中へは
庭は這入れません
まわりをくるくる廻っています。

シャボン玉

私の耳は貝のから
海の響きをなつかしむ

耳

ジャン・コクトオ
堀口大聖
訳

